

セーブポートR (基本・縦連棟・ロング柱) 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- カーポートは簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
 - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内(屋根・パネルなどで囲んだ内部)にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

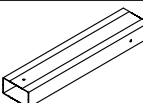
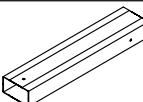
<基礎工事について>

⚠ 注意

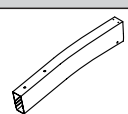
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要の場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 建築基準法による設置の場合は、設置場所・現地地耐力・設置条件によって基礎サイズが異なります。

■梱包明細表

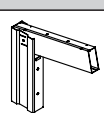
①主柱セット

名 称	略 図	員 数			
		2本入	3本入	ロング 2本入	ロング 3本入
柱		2	3	—	—
ロング柱		—	—	2	3
取扱説明書	—	1	1	1	1

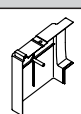
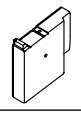
②梁セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
梁		2	3

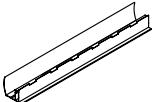
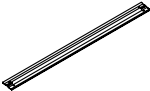
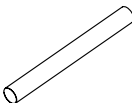
③ブラケットセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
ブラケット		2	3

③ブラケットセット つづき

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
ブラケットカバーR		2	3
ブラケットカバーL		2	3
③-① φ5×55 サラタツピンネジ		2	3

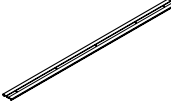
4 前枠・後枠セット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
前枠		1	1
後枠		1	1
屋根材ホルダー		14	16
縦樋		1	1

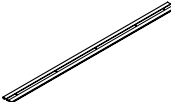
5 母屋セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
母屋		3	4

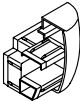
6 幅セット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
側枠R		1	1
側枠L		1	1
側枠カバー		2	2
アーチ		6	7
アーチカバー		6	7

7 連棟用幅セット

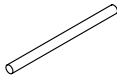
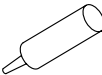
名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
アーチ		7	8
アーチカバー		7	8

8 部品セット

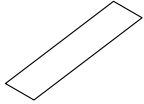
名 称	略 図	員 数			
		間口24・27型		間口30型	
		50型	57型	50型	57型
前枠コーナーキャップR		1	1	1	1
前枠コーナーキャップL		1	1	1	1
後枠コーナーキャップR		1	1	1	1
後枠コーナーキャップL		1	1	1	1
梁キャップ		2	3	2	3
梁用止水パッキン		2	3	2	3

■梱包明細表 つづき

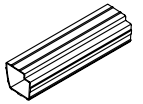
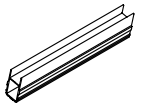
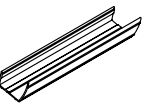
⑧部品セット つづき

名 称	略 図	員 数			
		間口24・27型		間口30型	
		50型	57型	50型	57型
アンカー棒		2	3	2	3
ブチルシーリング材		1	1	1	1
穴隠しシール		20	30	24	36
雨樋アタッチメント		1	1	1	1
雨樋穴ふさぎキャップ		1	1	1	1
アタッチメントパッキン		2	2	2	2
ドレンエルボ		1	1	1	1
92°エルボ		2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1
屋根材ホルダースペーサー		36	40	36	40
⑧-① M8×25六角ボルト (SW+PW)		14	21	14	21
⑧-② φ5×14トラスタッピンネジ3種		4	6	4	6
⑧-③ φ5×13ドリルネジ		50	62	54	68
⑧-④ φ4×13ナベドリルネジ		72	82	86	98
⑧-⑤ φ4×10ワッシャーヘッドネジ		100	112	140	157
⑧-⑥ φ4×12トラスタッピンネジ3種		4	4	4	4
⑧-⑦ φ4×13ナベドリルネジ		3	3	3	3
取付説明書	—	1	1	1	1

10 屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		3枚入	4枚入
屋根パネル		3	4

11 連棟部材セット

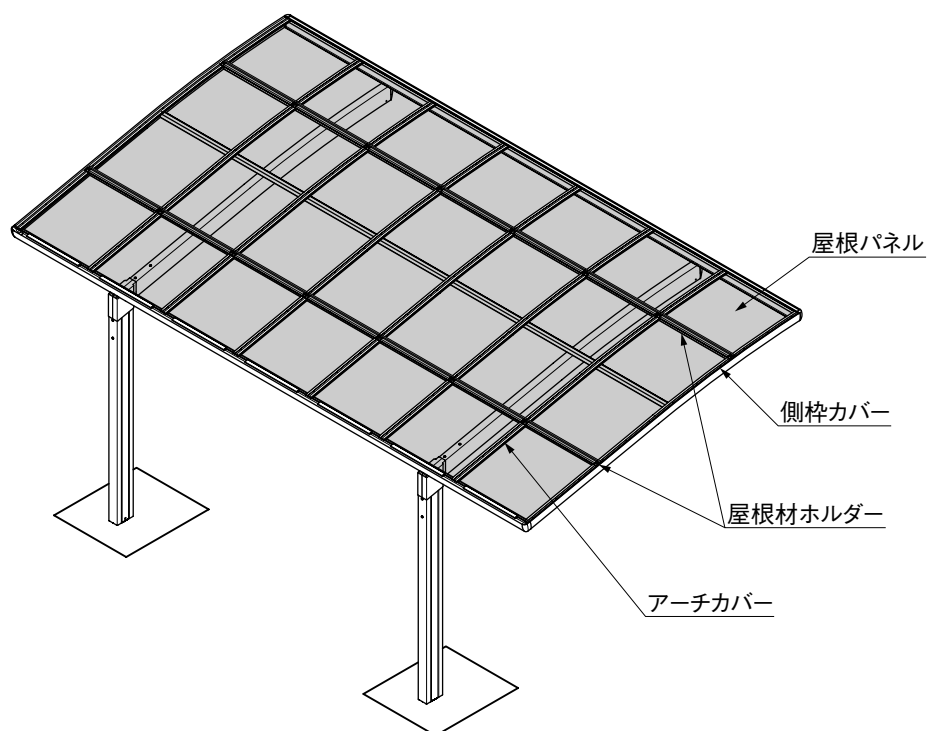
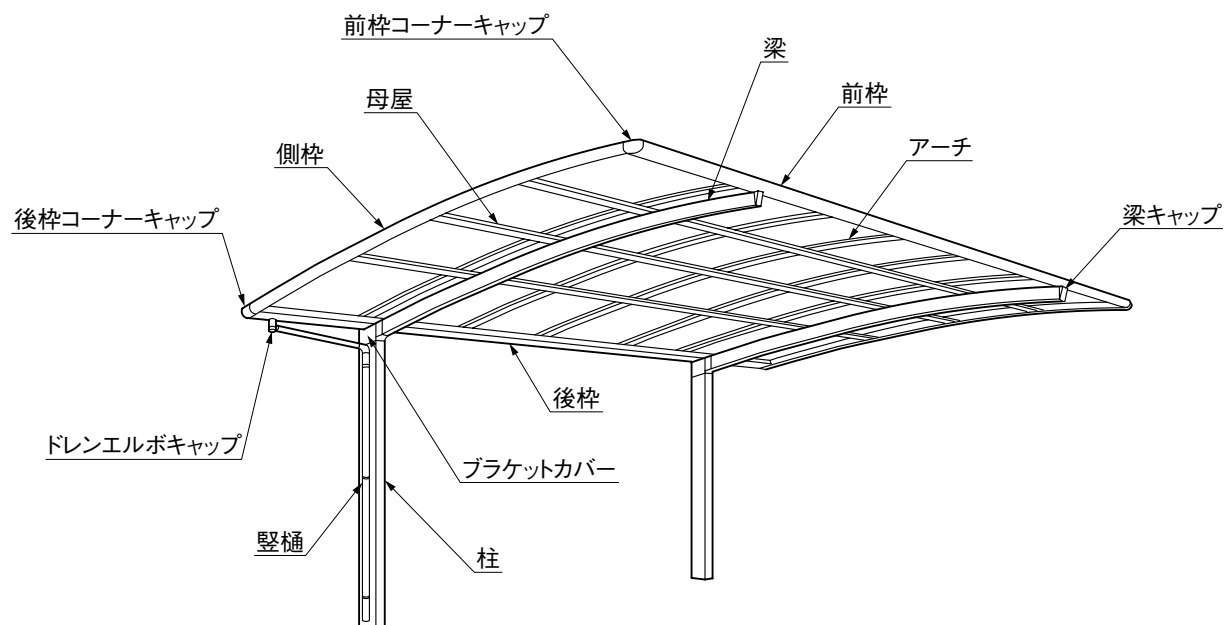
名 称	略 図	員 数	
		24・27用	30用
前枠スリーブ		1	1
母屋スリーブ		3	4
後枠スリーブ		1	1
11-① φ4×13 ドリルネジ		42	50

INDEX

1 基本寸法と各部の名称	7
1. 各部の名称	7
2. 基本寸法	8
2 基本の施工方法	10
1. 基礎の施工	10
2. 柱と梁の取付け	10
3. 前枠・母屋・後枠の取付け	11
4. 側枠・アーチの取付け	12
5. 屋根パネルの取付け	13
6. 縦樋の取付け	16
3 縦連棟の施工方法	17
1. 基礎の施工	17
2. 本体の連結	18

1 基本寸法と各部の名称

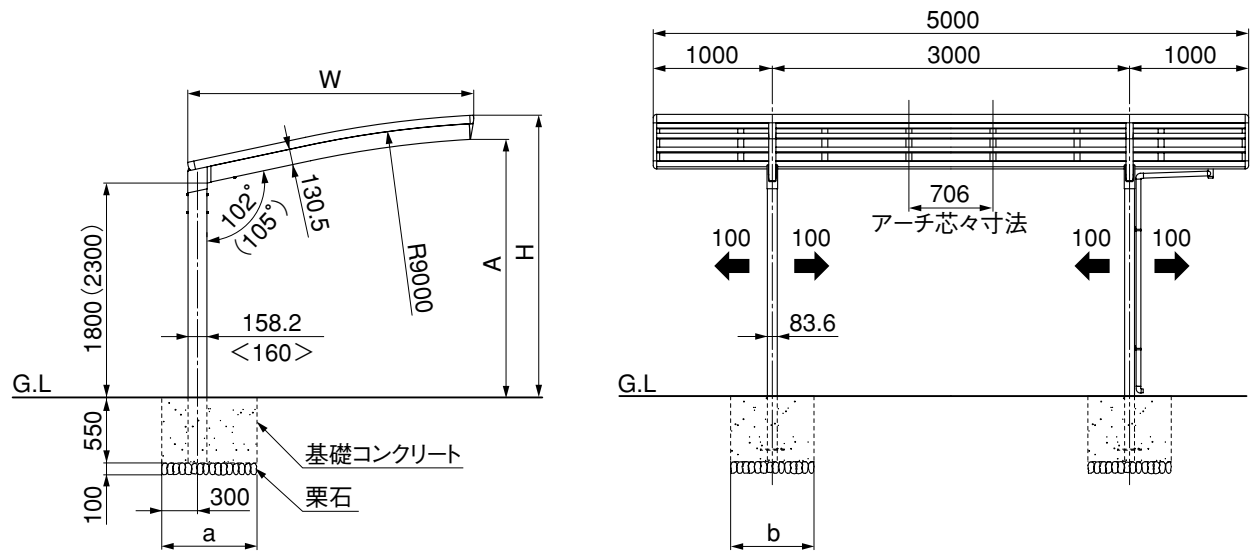
1. 各部の名称



2. 基本寸法

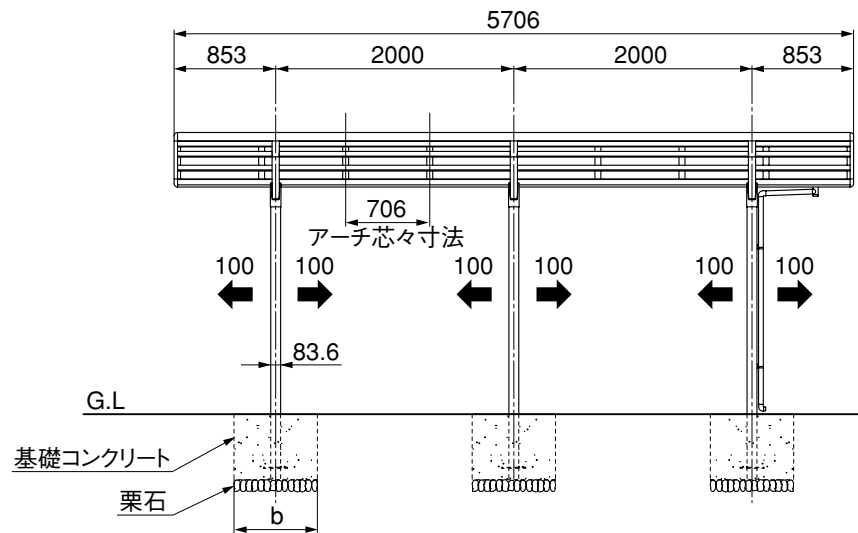
※図は標準柱仕様、L50サイズを示します。
 () はロング柱仕様、< > はW30サイズを示します。

2-1 奥行き50タイプ

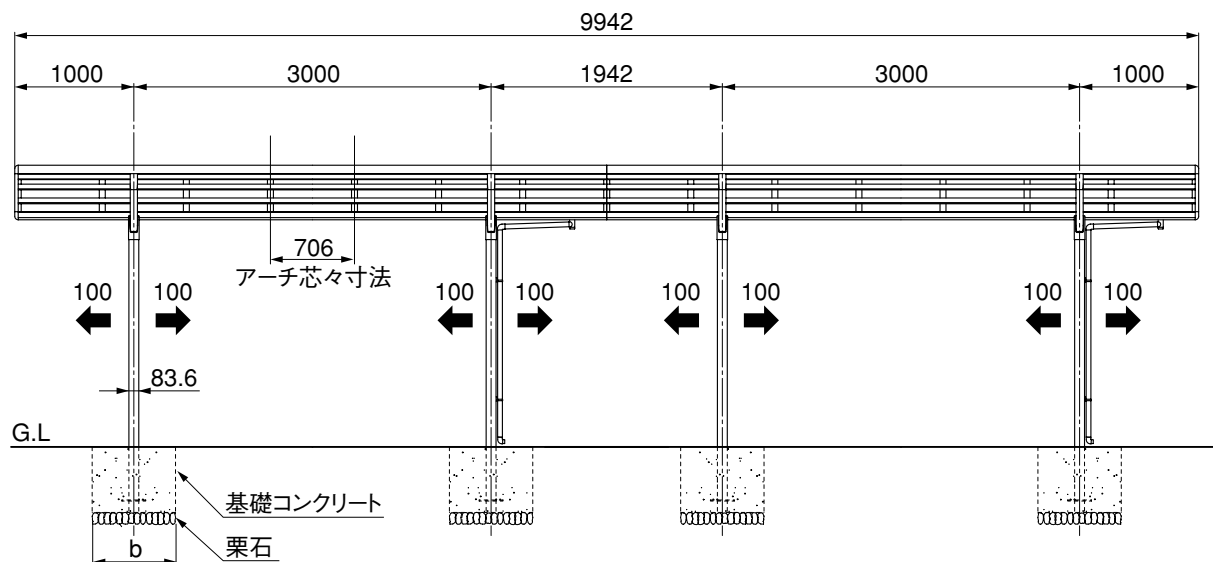


サイズ	W	A	H	a	b
24	2401	2167 (2667)	2370 (2870)	900	700
27	2701	2231 (2731)	2434 (2934)	900	700
30	3000	2377 (2877)	2580 (3080)	1050	800

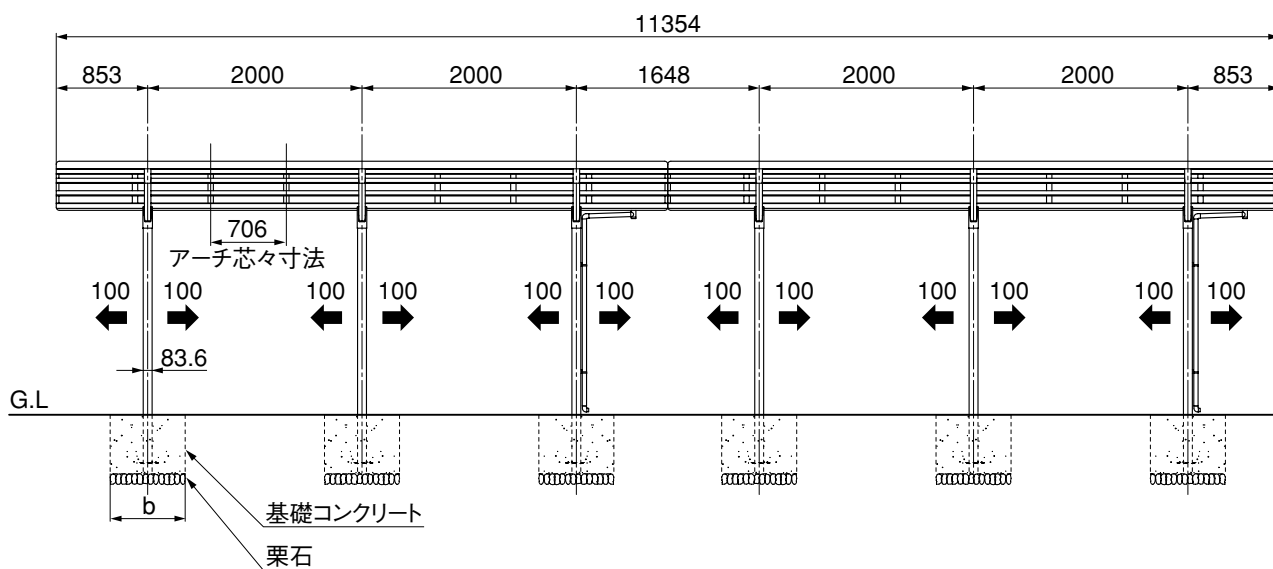
2-2 奥行き57タイプ



2-3 奥行き50縦連棟タイプ



2-4 奥行き57縦連棟タイプ



2 基本の施工方法

1. 基礎の施工

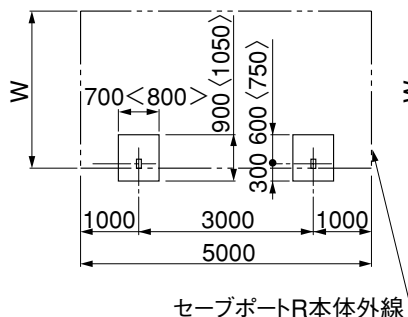


図1-1 50サイズ

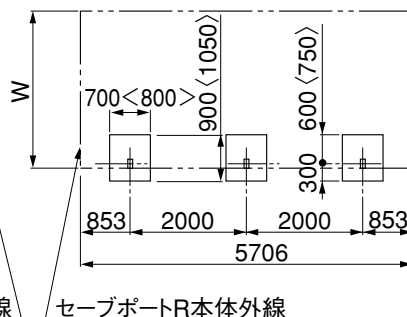


図1-2 57サイズ

サイズ呼称	W
24	2401
27	2701
30	3000

- ① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

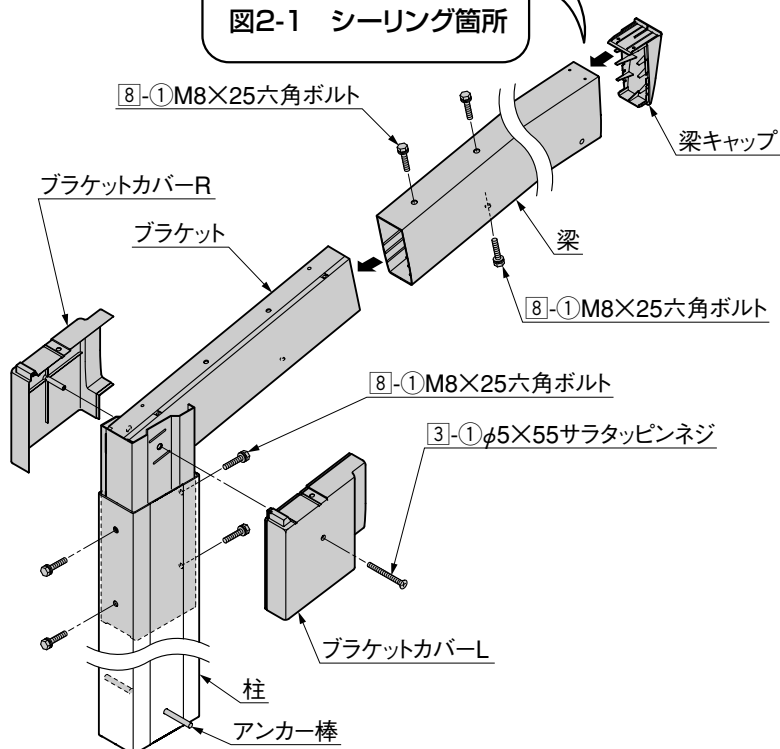
補足

- 柱の移動は±100mm以内です。
- 〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。

2. 柱と梁の取付け



図2-1 シーリング箇所



- ① 柱にアンカー棒を差し込んでください。
- ② 柱にブラケットを8-①で取付けてください。
- ③ 梁をブラケットに8-①で取付けてください。
- ④ ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを3-①で取付けてください。
- ⑤ 梁キャップにシーリング材を充てんして、梁に取付けてください。(図2-1参照)

注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図2-1参照)
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

3. 前枠・母屋・後枠の取付け

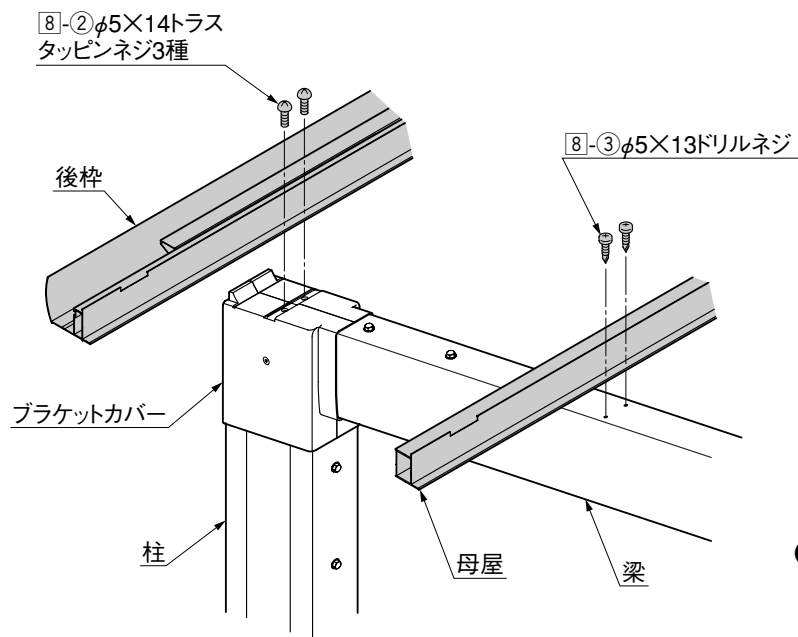


図3-1

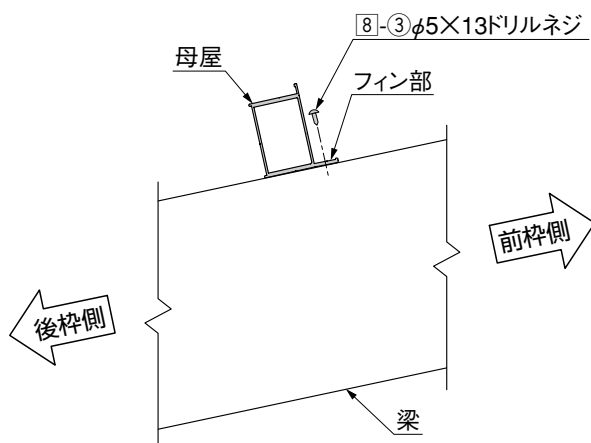


図3-2

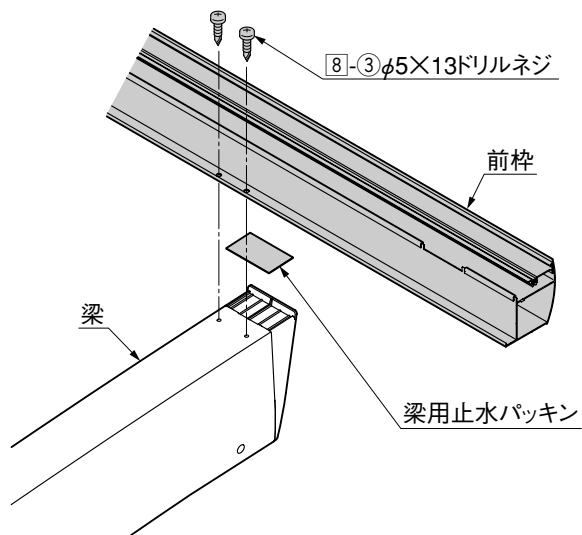


図3-3

① 後枠をブラケットカバーに[8]-②で取付けてください。(図3-1参照)

② 前枠側にフィン部を向けて、母屋を梁に[8]-③で取付けてください。(図3-2参照)

③ 梁の先端に梁用止水パッキンを取付けて、前枠を梁に[8]-③で取付けてください。(図3-3参照)

ポイント

- 柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋を梁に合わせて後枠はφ5.5、前枠・母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。
- 既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

4. 側枠・アーチの取付け

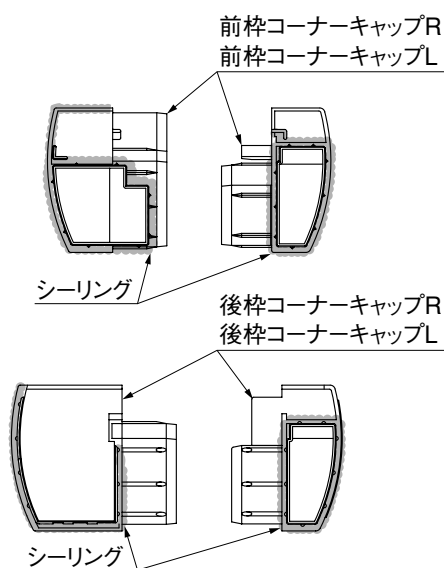


図4-1

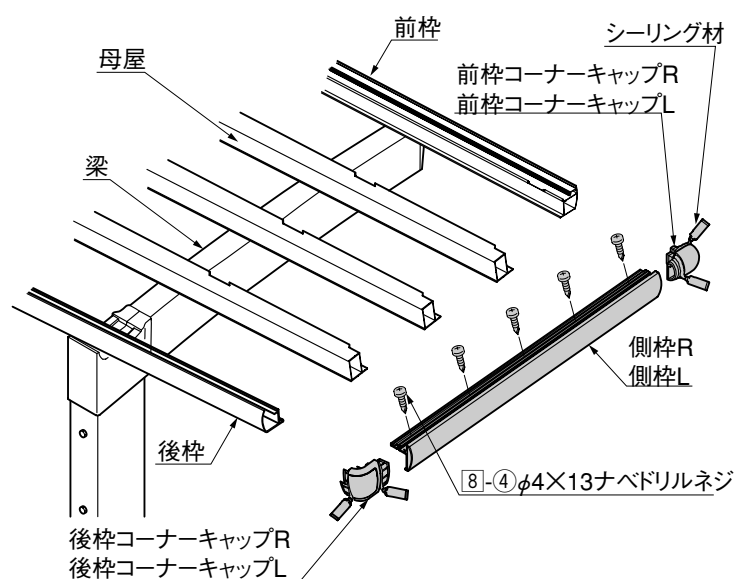


図4-2

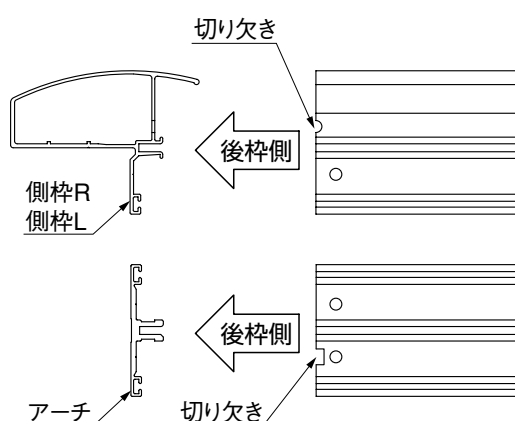


図4-3

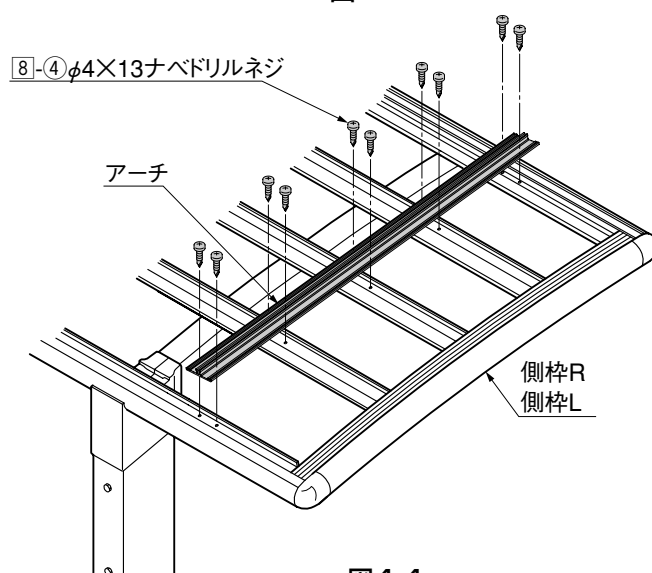


図4-4

- ① 前枠コーナーキャップR・前枠コーナーキャップLおよび後枠コーナーキャップR・後枠コーナーキャップLにシーリング材を充て込んで、側枠R・側枠Lに取付けてください。(図4-1、図4-2参照)

ポイント

- 側枠R・側枠Lには左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。(図4-2参照)

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図4-1参照)
- 同梱のプチルシーリングを使用してください。

- ② 前枠・後枠・母屋に側枠R・側枠Lの穴を合わせて、[8]-④で取付けてください。
- ③ アーチの前後を確認して、前枠・後枠・母屋にアーチの穴を合わせて、[8]-④で取付けてください。(図4-3、図4-4参照)
- ④ 屋根枠まわりの対角・水平出しおよび柱の垂直出しをしてください。

補足

- 前枠・後枠・母屋には加工穴はあいていません。

5. 屋根パネルの取付け

5-1 屋根パネルの取付け手順

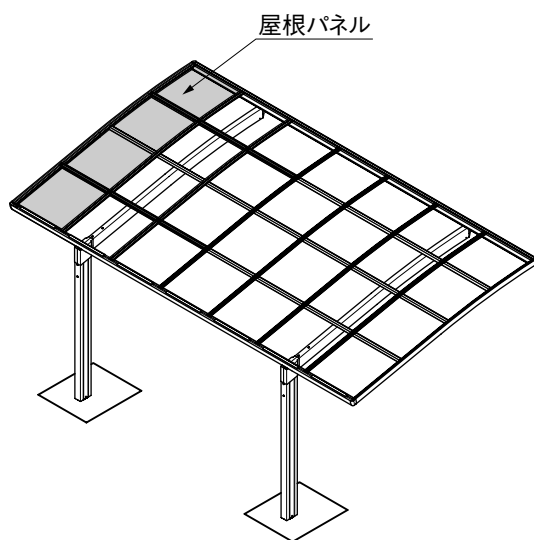


図5-1 屋根パネルの取付け

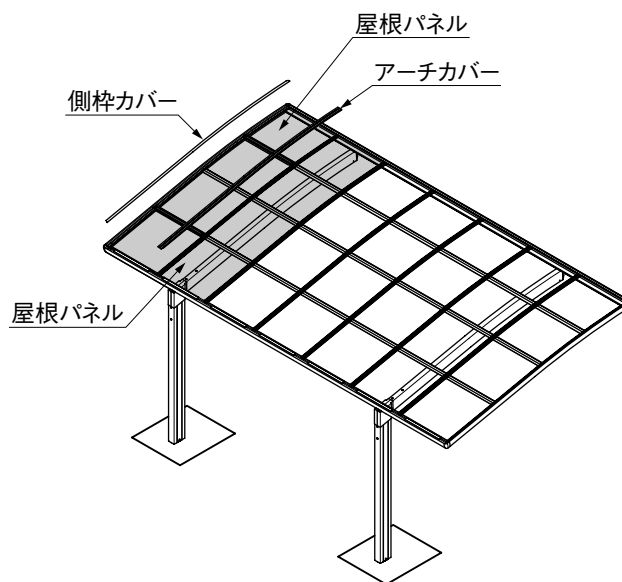


図5-2 側枠カバー、アーチカバーの取付け

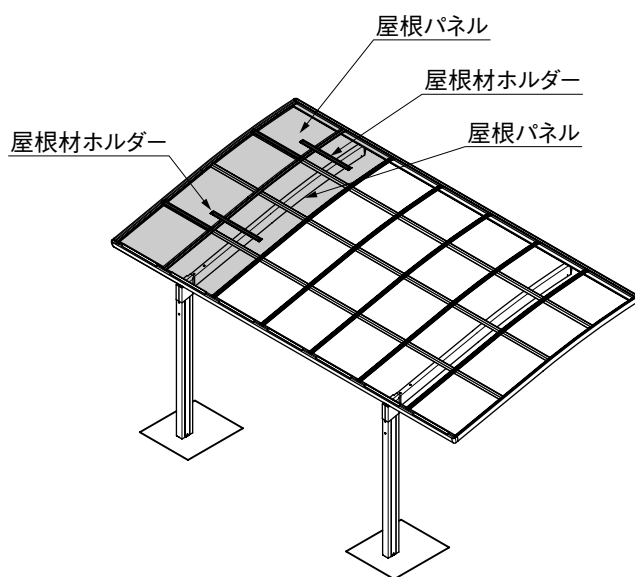


図5-3 屋根材ホルダーの取付け

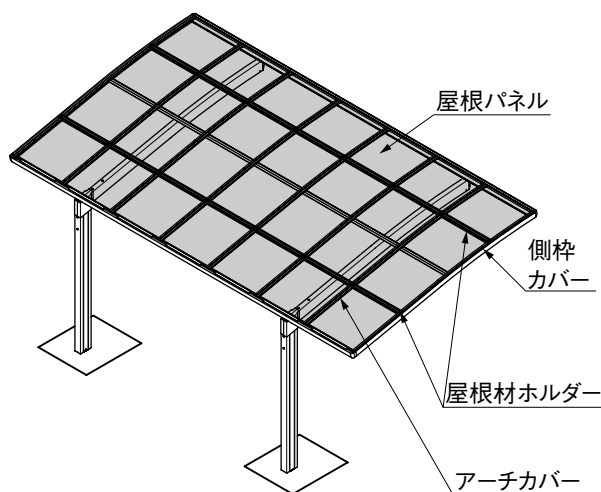


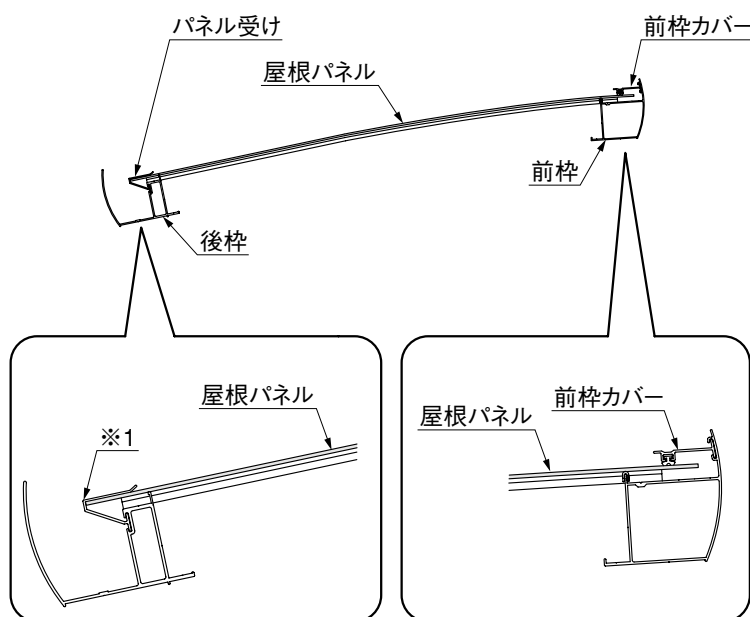
図5-4 取付け完成図

ポイント

- 屋根パネル・側枠カバー・アーチカバー・屋根材ホルダーの取付け順序は必ず守ってください。正確な取付けができないおそれがあります。

5. つづき

5-2 屋根パネルの取付け



- ① 屋根パネルを前枠カバーに差込み、パネル受けに差込んでください。

ポイント

- 屋根パネルは後枠側に突き立ててください。(※1)
- アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。

5-3 側枠カバー・アーチカバーの取付け

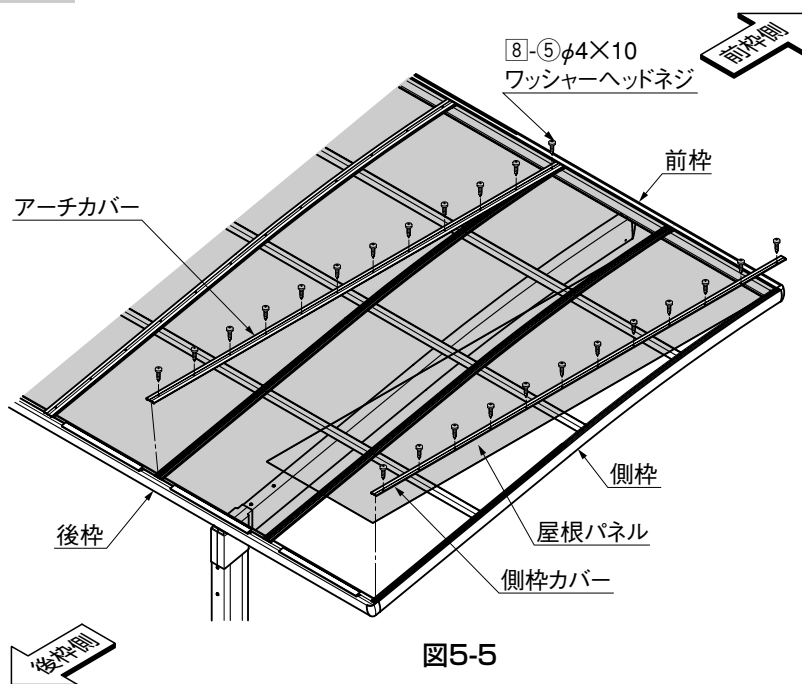


図5-5

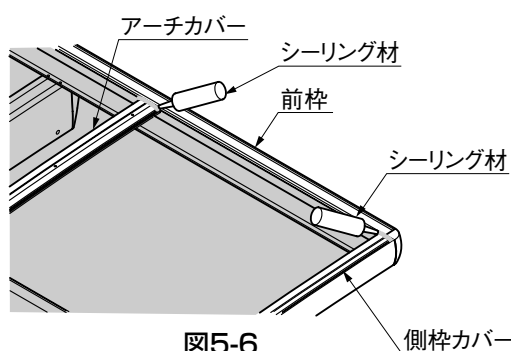


図5-6

- ① アーチカバー・側枠カバーを前枠に突き当てて、前枠側からアーチに[8]-⑤で取付けてください。(図5-5参照)

ポイント

- アーチとアーチカバーがかみ合っていることを確認してください。
- ② 前枠とアーチカバーの間と前枠とアーチカバーの間にシーリング材を充てんしてください。(図5-6参照)

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図5-6参照)
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。
- シリコンシーリングを行なう場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。(表5-1参照)

表5-1

シーリングメーカ	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン	トスシール380
東レ・ダウコーニング	SE960

5-4 屋根材ホルダーの取付け

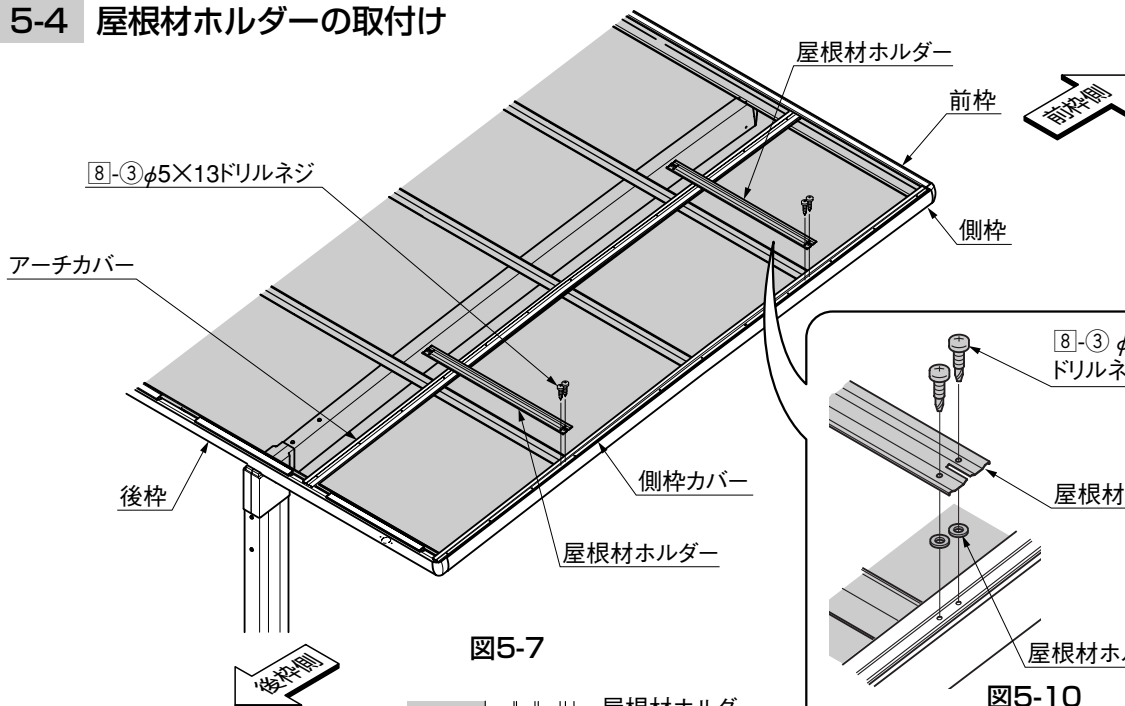


図5-7

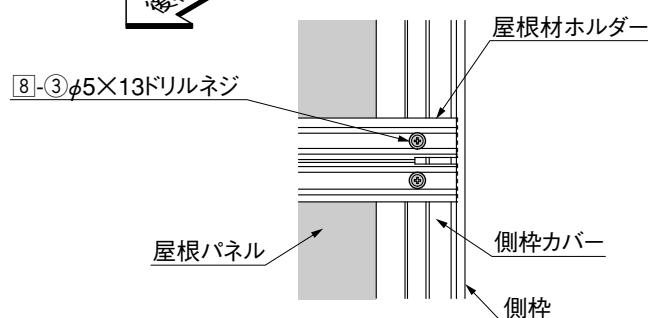


図5-8

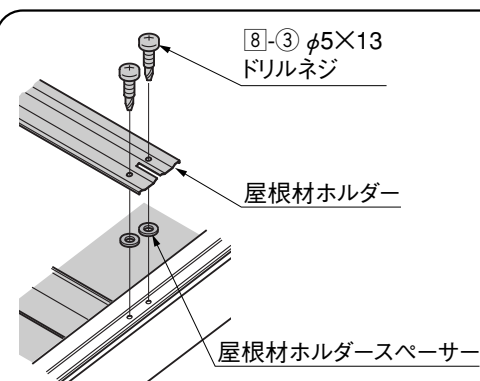


図5-10

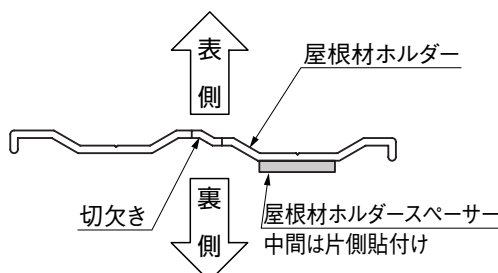


図5-11 屋根材ホルダー断面図

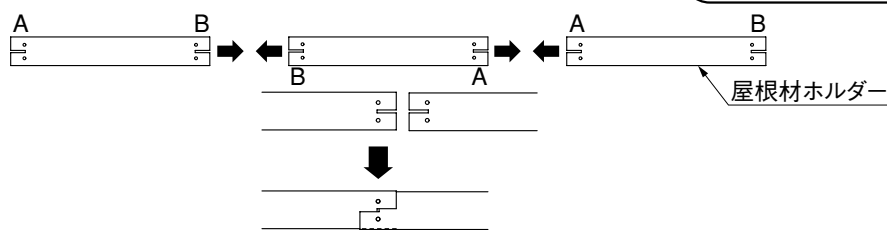


図5-9

- ① 屋根材ホルダーの裏側に屋根材ホルダースパースーを貼付けて、後枠側・前枠側から数えて、それぞれ1本目の母屋の真上の位置に[8]-③で取付けてください。(図5-7参照)

ポイント

- 屋根材ホルダーは、表裏の向きに注意してください。(図5-11参照)
- 取付け前に屋根材ホルダー下面に屋根材ホルダースパースーを取付けてください。(端部：図5-10、中間：図5-11参照)
- 側枠カバー側のネジだけを固定して、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定してください。(図5-8参照)
- 2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切り込み部分をかみ合わせるように取付けてください。(図5-9参照)
- アーチカバーには、屋根材ホルダー取付用の穴はあいていません。

6. 縦樋の取付け

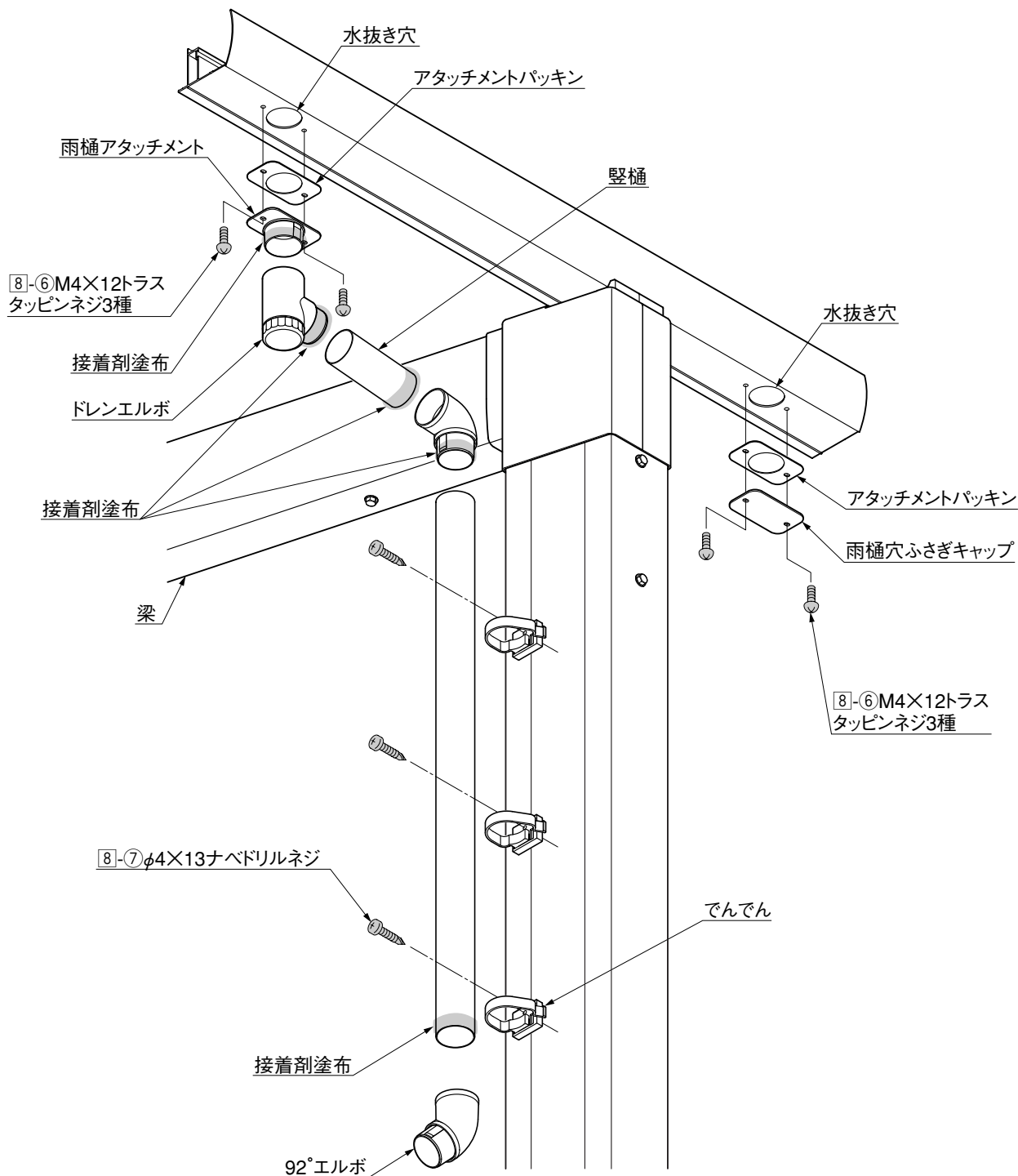


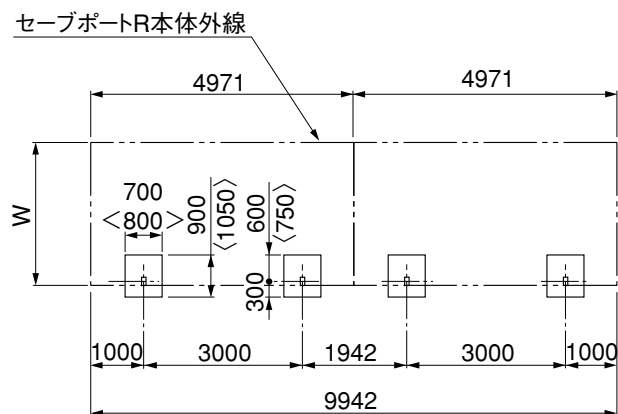
図6-1

- ① 後枠両端の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、縦樋、92°エルボ、でんでんを接着剤と8-6、8-7で取付けてください。
- ② もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを8-6で取付けてください。

3 縦連棟の施工方法

1. 基礎の施工

1-1 50サイズ+50サイズ



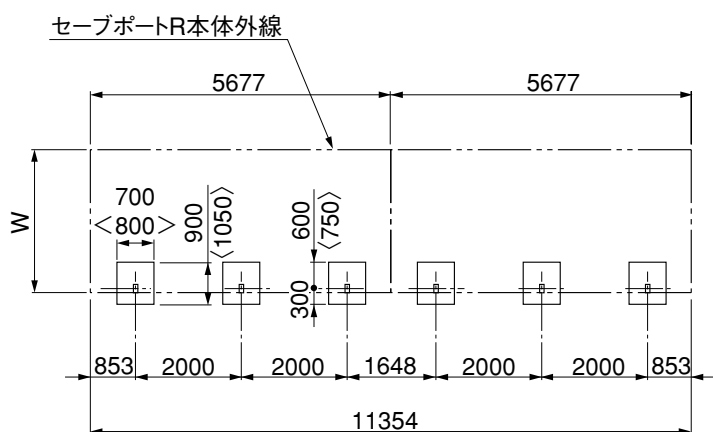
サイズ呼称	W
24	2401
25.5	2551
27	2701
30	3000

- ① 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内です。
- 〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。

1-2 57サイズ+57サイズ



サイズ呼称	W
24	2401
25.5	2551
27	2701
30	3000

- ① 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内です。
- 〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。

2. 本体の連結

2-1 連棟部の加工

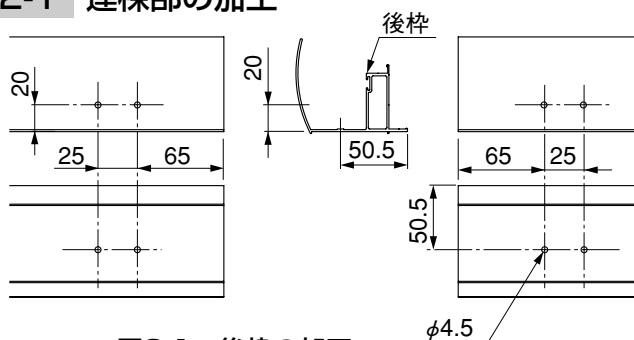


図2-1 後枠の加工

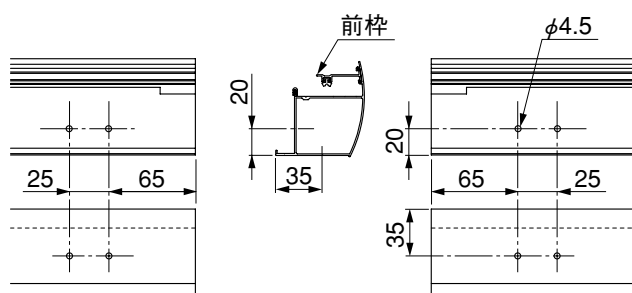


図2-2 前枠の加工

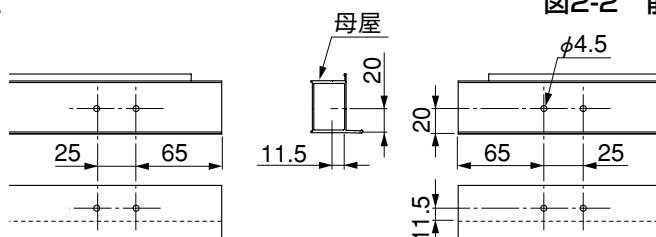
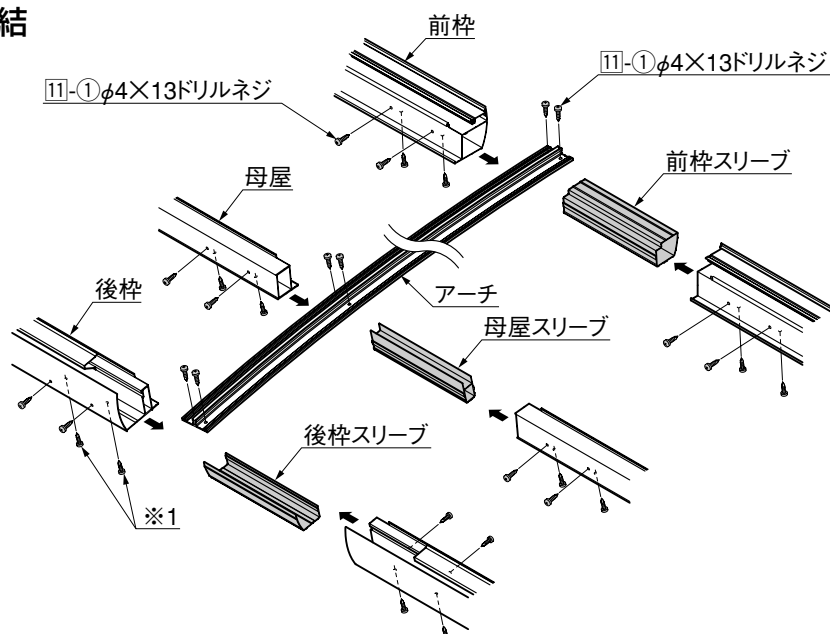


図2-3 母屋の加工

- ① 後枠・前枠・母屋の連棟側を穴加工してください。(図2-1、図2-2、図2-3参照)

2-2 連棟部の連結



- ① 後枠スリーブを取付ける[11]-①にシーリングをしてください。(※1)
- ② 前枠・母屋・後枠にそれぞれ前枠スリーブ、母屋スリーブ、後枠スリーブを[11]-①で取付けて連結してください。
- ③ 全ての[11]-①の回りにシーリングをしてください。

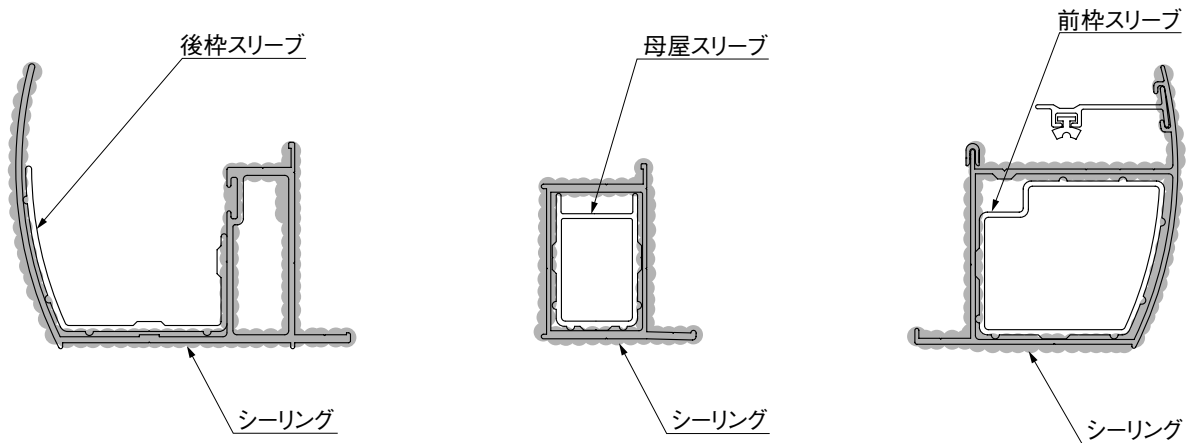
ポイント

- 連棟部分以外の組立ては、「2.基本の施工方法」を参照してください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

2-3 シーリング処理



❶ 連棟部分にシーリングを充てんしてください。

 補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

メモ



VFU577135F
200310A_1007
201211F_1007